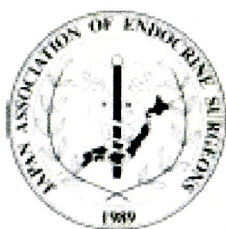


# 日本内分泌外科学会

*Japan Association of Endocrine Surgeons*



## News Letter — December 2007, No.2

ホームページが充実しました。  
情報提供の場です。是非御活用下さい。  
<http://jaes.umin.ac.jp/>

日本内分泌外科学会理事長のご挨拶

第19回日本内分泌外科学会総会を終えて

第20回日本内分泌外科学会総会開催に向けて

平成18年度日本内分泌外科学会賞を受賞して

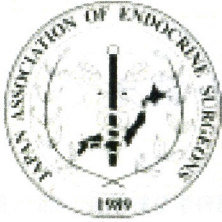
平成18年度日本内分泌外科学会研究奨励賞を受賞して

第19回日本内分泌外科学会評議員会議事録

[随筆] 内分泌外科医とは？

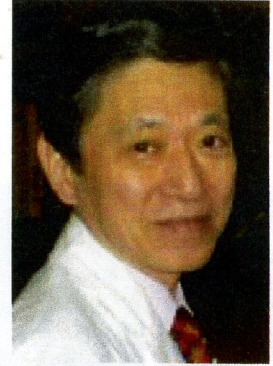
[随筆] 小雨の古寺にアジサイを楽しんで

[随筆] 結 紮



<http://jaes.umin.ac.jp/>

## 日本内分泌外科学会理事長のご挨拶



日本内分泌外科学会理事長  
(帝京大学医学部外科)  
高見 博

2007年の第19回本総会は名古屋市立大学 腎・泌尿器科学分野教授 郡健二郎会長の下で、成功裡に終了いたしました。来年の2008年度は記念すべき第20回目の開催となります。会長の佐々木巖教授(東北大学外科)も大いに力を入れられておりますので、宜しくお願ひ申し上げます。

本学会も外科関連学会協議会 加盟学会となり久しく、泌尿器科と共に外科系学会の中で、医学・医療のあらゆる分野で重責を背負っていくことになります。日本は世界有数の医療大国ではありますが、求められる医療の質とは反対に「外科医系医師」を取り巻く状況は苦しくなってきました。たとえば、外科志望者が減少していることに關しましても、その原因は多種によび、会員の皆様も毎日、マスコミなどを通し、お考えになっていることと思ひます。詳細は省かせていただきますが、究極のところ「進化する外科」をめざしている以上、「外科医療の崩壊」は絶対に避けなくてはなりません。外科の中で、内分泌外科医は比較的、穏やかな方の集合体ですが、外科系に属している以上、医療のプロフェッショナルリズムに基づき、反省すべき点は反省し、主張すべき点は主張し、進化した医療を社会と共に共有できるように努力すべきと考えております。

## 第19回日本内分泌外科学会総会を終えて

名古屋市立大学腎・泌尿器科学分野教授 郡 健二郎



高見 博 理事長(左)とともに、総会に臨む

第19回日本内分泌外科学会総会は、名古屋東急ホテルにおいて2007年5月31日(木)、6月1日(金)の2日間、盛況裡に終えることができました。予想を超える350名余もの多くの会員の参加を得て、演題は143題に達しました。これもひとえにご支援ご協力いただきました日本内分泌外科学会の会員の皆様のおかげと心より感謝申し上げます。

今回、私たち泌尿器科学教室が本学会を担当させていただくにあたりましては、本学会が学際学会である特徴を生かすことができればとの思いで企画をいたしました。特に、これまで本学会に参加しておられなかった泌尿器科医に新たに本学会に参画し、盛り上げて頂くようお願い致しました。本学会の主体メンバーである甲状腺と乳腺の領域は、私たちにとりましては門外漢ですので、各専門領域の先生方のご指導を賜りました。それらのこともあり、すべてのセッションでホットな討論が行われ、今日の学会を通して泌尿器科医と内分泌外科医のより強い連携が得られたものと思っております。

学術集会の内容は、招聘講演では、住友病院院長の松澤佑次先生に「メタボリックシンドロームと脂肪細胞」、フランスよりお招きしたガストン先生に「Robotic

surgery: The future of radical prostatectomy by laparoscopic approach」というup dateで最近の話題を、専門外の医師にもわかりやすくご講演いただきました。参加された多くの先生方から口々に「他領域の話聞くのは学会中の清涼剤のようで良かった」「非常にためになった」「わかりやすかった」とのお言葉を聞き、この企画の成功を喜ぶとともに、ご講演いただきましたお二人の先生に深く感謝申し上げます。

熊本大学の岩瀬弘敬先生には「エストロゲンレセプター分子機構解析と乳癌内分泌療法」のタイトルで特別講演いただき、名古屋市立大学乳腺・内分泌外科グループの膨大な基礎データの集積と臨床への応用に敬服いたしました。シンポジウムは、学際学会としての特徴を生かすことに努め、甲状腺関係2つ、内分泌外科領域の専門医制度と教育方法、前立腺癌の内分泌治療、内分泌外科領域における画像診断の計5つを企画いたしました。いずれも活発な討論がなされ、会場全体が熱気につつまれました。格別のご尽力をいただきました司会の先生とご講演の諸先生方に心からの感謝を申し上げます。また、ポスター討論は、学会終盤であったにもかかわらず、聴衆が多く、ポスターが見えないほどの盛況裡に終えることができました。

末筆ですが、企画から準備、運営に至るまで、多くの内分泌外科、泌尿器科らの先生方からも温かいご協力とご支援を賜りました。この場をお借りして改めて心から感謝申し上げます。私たちの不慣れさゆえに会員の皆様には何かとご不便をおかけした点が数多くあったと思いますが、何卒、ご容赦いただきたく存じます。

次回は、2008年6月12日、13日に佐々木先生(東北大学外科)を会長として、仙台で開催されます。来年も仙台の皆様と再会できることを楽しみにしております。

## 第20回日本内分泌外科学会総会開催に向けて

第20回日本内分泌外科学会総会会長

東北大学大学院医学系研究科 外科病態学講座生体調節外科学分野 佐々木 巖



この度は第20回という節目の学会総会を仙台市で開催させていただくことになり、大変光栄に存じ、また身の引き締まる思いをしております。本学会の前身の内分泌外科研究会を前任教授の松野正紀先生が仙台市で開催されたおり、ガストリノーマのシンポジウムで京都大学の今村正之先生らと一緒に発表させていただいたことを懐かしく思います。本学会は甲状腺・副甲状腺外科の専門医が多く参加する学会ですが、多くの会員のご努力によりまして、現在では泌尿器科、乳腺外科、婦人科など多くの専門領域の医師が一堂に会する学会として発展しております。

既に、下記のごとく会期と会場が決定し、現在はプログラム作成にとりかかっておりますが、皆様のご支援とご協力を得、周知を結集して実のある学会として成功させたいと考えておりますので、ご支援のほど宜しくお願いいたします。

また、6月初旬の仙台は“杜の都”の名に違わず緑も美しく、皆様方をお迎えするのに最適の時期でありますので、大勢の会員の皆様のご参加をお待ちしております。

平成19年9月

### 記

会 期：平成20年6月12日(木)、13日(金)

会 場：仙台市江陽グランドホテル(仙台駅から徒歩にて8分程度)

演題募集：平成20年1月頃を予定

学会事務局：東北大学大学院医学研究科・生体調節外科学分野内

〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1-1

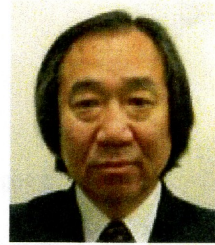
担当：柴田 近

TEL022-717-7205 FAX022-717-7209



## 平成18年度日本内分泌外科学会賞を受賞して

名古屋第二赤十字病院移植・内分泌外科  
富永 芳博



この度平成18年度日本内分泌外科学会賞をいただき、大変光栄に存じます。私どもの行っております、上皮小体(副甲状腺)の外科が評価していただけたとうれしく思っております。上皮小体は人で最後に発見された小さな臓器で、その魅力的な姿については、多くの御指導していただいた先生方の目を輝かせながら、お話しになる姿からも充分に知ることが出来ました。私もいつの間にか上皮小体の虜になってしまいました。私は、1989年Sweden, Uppsala大学病院で研修する

機会を得ました。短い期間でしたが、上皮小体に関して多くのことを学ぶことが出来ました。1877年、同大学の当時学生であったIvar Sandströmが人で最初に上皮小体を発見したことを知り、皆様にもその発見の裏話を知っていただきたく、特別講演の演題をThe story of Ivar Sandströmとさせていただきます。知れば知るほど上皮小体は魅惑的です。今後もこの分野で精進していきたいと考えております。今後とも御指導御鞭撻のほどよろしく願いいたします。

---

## 平成18年度日本内分泌外科学会研究奨励賞を受賞して

藤田保健衛生大学内分泌外科  
日比 八束



このたび日本内分泌外科学会研究奨励賞を授与していただき、まことに名誉なこととたいへん嬉しく思っています。選考委員の先生方に厚くお礼申し上げますとともに今回受賞となりました研究を支えていただきました富永芳博先生、今井常夫先生、岩瀬克己先生にはこの場を借りて深く感謝申し上げます。今年是自己

にとって内分泌外科学会に初めて参加して以来ちょうど10年目にあたるのですが、その節目に地元名古屋で開催された総会で表彰していただいたことは一生に残る思い出です。これからも内分泌外科学の発展に微力ながら貢献していきたいと思っておりますので、諸先生方のご指導ご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げます。

# 第19回日本内分泌外科学会評議員会議事録

日 時：平成19年5月30日(水)

会 場：名古屋東急ホテル 3階「ルネッサンス」

審議に先立ち、議事録署名人として佐々木 巖、吉田 明両理事が選任された。

## 【報告事項】

### 1) 会員状況報告

①平成19年度5月29日現在の会員数は以下の通りである。

名誉会員:28名、特別会員:55名、評議員:189名、一般会員:863名(会員総数:1,135名)

②前理事会開催時から平成19年5月29日までに報告された逝去会員は6名。全員で黙祷を捧げた。

百瀬 剛一 先生 (名誉会員) 原 節男 先生 (特別会員)

麻賀 太郎 先生 (評議員) 新家 俊明 先生 (評議員)

宇田川 潔 先生 (正会員) 朝山 功 先生 (正会員)

### 2) 第19回総会について

郡 健二郎会長より明日31日(木)から開催される総会について挨拶があった。

### 3) 平成18年度会計決算報告

平成18年度(平成18年4月1日～平成19年3月31日)会計報告がなされ承認された。

### 4) 故 小池明彦名誉会員寄付金について

平成18年4月17日に故 小池明彦名誉会員よりご寄付戴いた2,323,391円について、金額を5等分し第20回総会より5年間総会を担当する会長に有効に使用してもらうことで決定した。

### 5) 評議員再任の承認

今年2月の理事会において承認された2007年度再任83名が報告された。

相羽 元彦、浅原 利正、阿部 元、天野 定雄、飯原 雅季、池田 佳史、石川 浩、石田 肇、石田茂登男、伊豆蔵正明、市川 智彦、伊藤 公一、伊藤 直樹、伊藤悠基夫、稲治 英生、今井 常夫、内野 眞也、大内 清則、大内 憲明、大久保雄彦、太田 信隆、大平 雅一、岡 聖次、小川 修、長村 義之、小野田尚佳、河西 信勝、金内 一、河野 通一、神森 眞、菊池 功次、北川 亘、北村 裕、木村 理、国末 浩範、久保 敦司、久保田光博、吳 吉煥、紅林 淳一、酒井 英樹、佐々木 巖、佐々木文章、佐藤 孝至、佐藤 康幸、芝 英一、嶋田 裕、杉野 圭三、鈴木 眞一、千賀 脩、武井 寛幸、武市 宣雄、田中 克浩、谷村 清明、多羅尾 信、塚本 泰司、辻 祐治、寺地 敏郎、土井隆一郎、内藤 誠二、中井 亨、中川 健、中川 昌之、中島 淳、長浜 充二、野口眞三郎、野水 整、博多 尚文、羽瀧 友則、原 尚人、福内 敦、福島 俊彦、藤岡 知昭、藤本 泰久、堀口 淳、松田 公志、三村 芳和、麦谷 莊一、森 洋子、横江 隆夫、横澤 保、吉岡 俊昭、吉川 和彦、吉田 克法(五十音順、敬称略)

### 6) 新任評議員の承認

今年2月の理事会において承認された新評議員6名の報告があった。

榎本 克久、金 隆史、小松 誠、鈴木 規之、櫻井 健一、高橋 義人(敬称略)

7)平成18年度学会賞・研究奨励賞の件

学会賞に富永芳博, 研究奨励賞に日比八東(敬称略)。総会において表彰式が行われ, 学会賞受賞者による講演が総会終了後に行われる旨報告された。

8)平成18年度最優秀論文賞の件

編集委員・顧問の厳選なる審査の結果, 今回は選出しないと決定した旨報告された。

9)次期理事選挙の件

選挙の流れ, 選挙管理委員について理事長より説明があった。

10)厚生労働省へ要望書の提出

「副甲状腺癌に伴う高カルシウム血症に対するシナカルセト塩酸塩の保険適用に関して」の件で, 富永芳博評議員よりアンケートの結果の報告, これを基に保険適用が実現するよう学会としても厚生労働省へ要望してほしいと依頼がされた。

【審議事項】

1)次期副会長の選出

理事会において承認された園尾理事が全会一致で推戴された。

2)名誉会員・特別会員の承認

名誉会員は該当者無し, 特別会員は浅石和昭評議員, 石田常博評議員が承認された。

3)平成19年度事業計画

1. 第20回総会の準備状況

佐々木巖副会長より第20回総会の開催概要, 準備状況の説明があった。

会期:平成20年6月12日(木)ー6月13日(金)会場:AERビル(宮城県仙台市)

2. 平成19年度学会賞・研究奨励賞について

理事長より応募から選出期間, 方法, 表彰の流れ等の説明があった。

3. 平成19年度機関誌「内分泌外科」の編集・発行について

高見編集委員長より全会員に機関誌の配布を検討する旨報告があった。

4. 国際学会との協調について

国際内分泌外科学会(平成19年8月下旬・於カナダ, モントリオール),  
アジア内分泌外科学会(平成20年2月19日～・於マレーシア)開催予定。

5. 関連学会との協調について

6. 外科系学会社会保険委員会連合(外保連)について

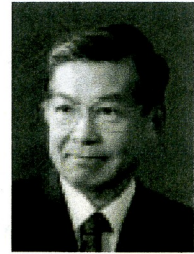
岡本評議員よりバセドウ病の手術時間の調査について説明があった。

7. 内分泌外科学会専門医制度検討委員会について

今後の予定として外科領域(甲状腺・副甲状腺), 泌尿器科領域(副腎)における専門医制度設立の可否の議論, 来年の本学会総会までに専門医制度規則の作成が掲げられた。

4)平成19年度収支予算の承認

## 内分泌外科医とは？



大阪府済生会野江病院  
今村 正之

高井新一郎元理事長が内分泌外科学会を主催された夕食会で、余興として「内分泌外科医とは？」という設問を投げかけたことがあった。国際的にも心臓・血管外科医を経て内分泌外科医になったNorman Thompson教授をはじめ、種々の外科領域を経験した後に内分泌外科専門になった外科医も多く、どのような魅力が内分泌外科にあるのか、そして内分泌外科医には人間として共通した傾向があるのか、ないのかなどを尋ねられて、私には興味深いものであった。思い違いがあるかも知れないが、内分泌外科医は攻撃的な性向が少なく、じっくり型というものであったかと思う。

私はというと京都大学では肝胆膵と食道という広領域の外科を専門としてきた。退官でcommon diseaseは次世代に引き継いだが、膵内分泌腫瘍は臨床を現在も続けていて、国際学会に招かれたり、TextbookのChapterの依頼も受けたりしている。頻度の多い疾患の研究は成果が挙げれば、多くの患者に福音をもたらし、稀な疾患の研究に比しより高い評価を受けて当然である。しかし、特殊な専門領域であっても有益な成果をだせば、研究者が少ないだけに長く研究を続けられることとなり、じっくりした楽しみを味わえて、研究者としては幸せともいえよう。





## 小雨の古寺にアジサイを楽しんで



藤田保健衛生大学内分泌・乳腺外科  
岩瀬 克己



久しぶりに予定のない日曜日。朝6時前に起床したが空は小雨まじり。6月生まれの私には、何となく落ち着いた静かな心地でむしろ快い。ちょっと朝飯前の散歩にと車をとばして一時間、見頃となったアジサイを楽しもうと妻と共に豊田市東部の山合いにある徳川家所縁の松平郷を訪ねた。

郷の入口には、徳川家康を祀る松平東照宮がある。さらに奥へと緩やかな坂を登ると、周囲を水田に囲まれた初代松平親氏を祀る高月院へと続いている。その傍らには水草の中にタニシにメダカ、オタマジャクシ、イモリが憩う小さな池が遠い少年時代の風景を彷彿とさせ、その周りには小雨に濡れたアジサイが様々な色で迎えてくれた。

ゆったりとした気分に酔いながら、家光が建立した山門をくぐり高月院本堂へと進むと、庭の木陰から「どうぞ本堂にお上がり下さい」と若い僧侶の声。訊けば毎朝6時半から行っている近隣の人々へのお経と講和を終えたばかりと。30代半ばの若い僧侶が熱く語る。現代は、一獲千金を願って一発勝負に賭ける者が多いが、「尽くした努力に相応する成果を得るか否かではなく、己ができる100%の努力を尽くす事が最も大切」と。理不尽なことが多い現代、とりわけ若い世代への対応に困惑するこの頃、若い僧侶のひた向きな言葉に久しぶりに心を洗われるような心地で早朝散歩を終えて帰路についた。

## 結 紮



伊藤病院  
伊藤 公一

高見理事長より中堅学会員として執筆依頼を頂きました。そこで他学会での話題を申し上げるのも無粋でございますが、先月、出席した外科系連合学会で痛感したことを記します。お馴染みの内分泌外科医が集まったところで「甲状腺外科における治療の工夫」が議論。主役は新しい止血機器であり、機械の上手な使用により結紮する助手のストレスが激減される点が強調されました。

座長として、その場で気のきいたコメントが差し上げられませんでした。よくよく考えれば外科医にとって結紮は極めて大切な仕事であります。駆け出しの外科医にとって共通の原風景に思いますが、初めて見る熟練外科医の糸結びの作法は、まさに芸術的であ

り、誰もが名人技を得ようと、日夜、机上で練習に励んでいたものと存じます。

体表臓器が仕事場である甲状腺外科手術は結紮の機会が多く、特に手際の良さが問われます。拙院では取り組んでおりませんので、学会では内視鏡手術の進歩を横目で眺めながら、未だ、ひたすら結紮を繰り返す外科医の姿を「職人のかっこよさ」と信じる小生は、もはや立派な中年外科医でしょうか？

とはいえ目覚めればメールチェック、診療現場では電子カルテを駆使、車の運転はカーナビの言うとおりに。気がつけば周辺の最新機械にすっかりと支配されている日常があります。

## 事務局より

日本内分泌外科学会ホームページ <http://jaes.umin.ac.jp> です。

### <学会機関誌について>

日本内分泌外科学会機関誌『内分泌外科』購読料は年会費に含まれておらず、別途お申込が必要になります。

お申込先： 榊インターメルク「内分泌外科」編集室  
〒168-0064 東京都杉並区永福1-39-15  
TEL：03-5376-2820 FAX：03-5376-5790

### <年会費>

学会員である資格を維持するには年会費の納入が必要です。会員の皆様には年会費請求書を送付いたしますのでお振込をお願いします。(年会費8,000円)

※会則第8条により、2年間会費を納入されなかった方は会員の資格を失いますので、ご注意ください。

### <入会・変更・退会について>

下記事務局あてにご連絡下さい。

#### 日本内分泌外科学会

事務局：〒173-8605 東京都板橋区加賀2-11-1  
帝京大学医学部外科 高見教授室  
TEL 03-3964-1227 FAX 03-3962-2128

## 日本内分泌外科学会

### 日本内分泌外科学会

理事長 高見 博

事務局：〒173-8605 東京都板橋区加賀2-11-1

帝京大学医学部外科 高見教授室

TEL 03-3964-1227 FAX 03-3962-2128

<http://jaes.umin.ac.jp/>